



株式会社 資生堂

第122回 定時株主総会のご報告

今後の情報発信について

インターネットによる情報収集の利便性、また、地球環境に配慮した省資源化の観点等から、ウェブサイトでの情報発信を充実させています。株主のみなさまにタイムリーに最新IR情報をお届けし、コミュニケーションのデジタル化をさらに進めてまいります。

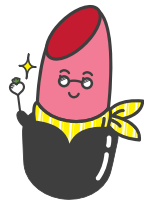
02-03 株主インフォメーション

- 株主総会の動画配信
- 株主総会事業活動展示を実施しました

「150年とこれからの資生堂」を
もっと知っていただくために

- 資生堂150周年スペシャルサイトのご案内
- 資生堂企業資料館オンラインツアーのご案内
- IRメール配信サービス
- 2022年のIRイベント

04-11 第122回 定時株主総会決議ご通知



株主総会の動画配信

2022年3月25日(金)、帝国ホテルにて第122回定時株主総会を行いました。また、株主さまとの対話を充実させることを目的として「株主総会ライブ配信」を実施しました。第122期の事業報告および、代表取締役 社長 CEOのプレゼンテーションは以下のサイトでご覧いただけます。



イメージ

▶ 第122期の事業報告(動画配信)

<https://www.irwebcasting.com/20220325/3/index.html>

資生堂 株主総会



イメージ

▶ プレゼンテーション(動画配信)

<https://www.irwebcasting.com/20220325/1/index.html>

資生堂 株主総会



株主総会事業活動展示を実施しました

資生堂は今年創業150周年を迎えます。「150年とこれからの資生堂」をテーマに、資生堂が創業から現在までの150年で遂げてきた進化を、商品および店頭で使用する機器等の展示を通してご紹介しました。

商品の進化
展示の一例



資生堂オイデルミン
150周年アニバーサリーエディション



SHISEIDO ビオパフォーマンス
セカンドスキン

店頭活動
の進化
展示の一例

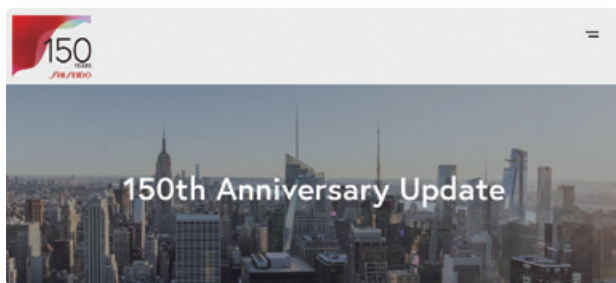


非接触で肌内部の美のめぐりを即座に測定できる
Beauty Alive Circulation Check
(ビューティー・アライブ・サーキュレーションチェック)

「150年とこれからの資生堂」をもっと知っていただくために

資生堂150周年 スペシャルサイトのご案内

美の力を信じ、美の可能性を広げてきた資生堂の歴史や、化粧品会社を超えた新しい取り組みを紹介するスペシャルサイトです。資生堂の知見、技術、ブランド価値を体現したフラッグシップストア「SHISEIDO THE STORE」や150周年記念商品等、様々なコンテンツをご紹介します。



▶ 資生堂150周年スペシャルサイト

<https://corp.shiseido.com/150th/jp/>

資生堂 150周年



資生堂企業資料館 オンラインツアーのご案内

資生堂企業資料館(静岡県掛川市)では、資生堂の長い歴史の中で生み出された商品や、宣伝制作物をはじめとする様々な資料の一部を展示公開しています。オンラインツアーでは、今日までの企業の歩みや、商品パッケージおよびポスター、資生堂と日本の化粧文化の関わりなどについて、動画でご紹介しています。



▶ 資生堂企業資料館オンラインツアー

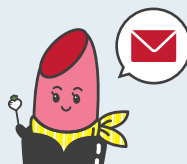
<https://corp.shiseido.com/jp/company/museum/>

資生堂企業資料館オンラインツアー



IRメール配信サービス

決算情報やニュースリリースなど最新のIR情報をEメールにてお知らせいたします。



IRメール登録

<https://corp.shiseido.com/jp/ir/request/>

資生堂 IRメール



2022年のIRイベント

決算発表の予定、個人株主さま向けのイベント等のスケジュールを掲載していますので、ぜひご覧ください。



IRカレンダー

<https://corp.shiseido.com/jp/ir/library/index.html#calendar>

資生堂 IRカレンダー



株主のみなさまへ

本店所在地 東京都中央区銀座七丁目5番5号
本社事務所 東京都港区東新橋一丁目6番2号

株式会社 資生堂

代表取締役 社長 CEO 魚谷雅彦

第122回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2022年3月25日開催の当社第122回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項 第122期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の配当の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

(1)株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき金30円 総額 11,984,796,990円

(2)剰余金の配当が効力を生じる日(支払開始日)

2022年3月28日

第122期の期末配当につきましては、1株につき30円、中間配当金20円と合わせて年間では1株につき50円となり、前期より10円増配となりました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

以下の2点について、当社定款を変更することについて決定いたしました。

- ・「会社法の一部を改正する法律」(令和元年法律第70号)附則第1条ただし書きに規定する改正規定が2022年9月1日に施行されますので、株主総会資料の電子提供制度導入に備えるため、当社定款について所要の変更を行いました。
- ・「産業競争力強化法」(平成25年法律第98号)の改正により、上場会社において、定款に定めることで、場所の定めのない株主総会(物理的な会場を設けず、取締役や株主等がインターネット等の手段を用いて出席する、いわゆる「バーチャルオンリー株主総会」)の開催が可能となりました。当社は、場所の定めのある株主総会を開催することが、株主のみなさまの利益に照らしても適切でないとして取締役会が決定したときには、場所の定めのない株主総会を開催することができるよう、条文を新設しました。

第3号議案 取締役8名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

取締役に魚谷雅彦氏、鈴木ゆかり氏、直川紀夫氏、横田貴之氏、岩原紳作氏および大石佳能子氏の6名が再選され、それぞれ重任いたしました。また、チャールズ D. レイクII氏および得能摩利子氏の両名が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、岩原紳作氏、チャールズ D. レイクII氏、大石佳能子氏および得能摩利子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

また、当社は岩原紳作氏、チャールズ D. レイクII氏、大石佳能子氏および得能摩利子氏を、東京証券取引所の有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員に指定しています。

第4号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

監査役に吉田猛氏が再選され、重任いたしました。

第5号議案 取締役に對する長期インセンティブ型報酬の決定の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

当社の役員報酬制度に基づく長期インセンティブ型報酬としての業績連動型株式報酬の一種であるパフォーマンス・シェア・ユニットを用いた制度(以下「本制度」といいます)について、以下のとおり決定いたしました。

① 本制度の対象取締役	第3号議案で承認された取締役のうち社外取締役を除く取締役4名
② 本制度に基づく報酬等の支給方法	以下の③および④の範囲内で、各対象取締役に対し、原則として、本制度に基づく報酬等の50%を当社普通株式の交付のための金銭報酬債権で、残りを金銭で支給する。各対象取締役は、これらのうち金銭報酬債権を現物出資することにより、当社普通株式を取得する。
③ 本制度における2022年度に係る報酬等として、2022年度から連続した3事業年度終了時における会社業績等の目標達成率等に応じて対象取締役に支給する当社普通株式交付のための金銭報酬債権および金銭の総額	当社普通株式86,000株に、交付時株価(当該株式の発行または処分に係る当社取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社普通株式の終値(同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値))を乗じた額を上限とする。 ただし、組織再編等により対象取締役全員が評価対象期間中に当社または当社子会社の取締役およびエグゼクティブオフィサーの地位を喪失したことに伴い、評価対象期間の終了前に本制度に基づく報酬等を支給する場合は、当社普通株式86,000株に、当該支給に係る当社取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社普通株式の終値(同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値)を乗じた額を上限とする。
④ 本制度に基づき対象取締役に交付する当社普通株式の総数	②に記載のとおり、対象取締役に対し最終的に当社普通株式として支給されるのは、本制度に基づき支給される報酬等のうち原則として50%であることから、43,000株を上限とする。

以 上

すべての議案の賛否状況につきましては、当社企業情報サイト内の「投資家情報/株主総会情報」に掲載しています。

〔賛否状況が掲載されているホームページURL〕
<https://corp.shiseido.com/jp/ir/shareholder/>

当社の役員報酬制度の概要

当社の役員報酬制度の全体像

当社の役員報酬は、固定報酬としての「基本報酬」と業績連動報酬としての「年次賞与」と「長期インセンティブ型報酬（非金銭報酬）」で構成され、報酬額の水準については、国内外の同業または同規模の他企業との比較および当社の財務状況を踏まえて設定しています。

また、当社は長期インセンティブ型報酬の評価指標を見直し、サステナブルな成長を実現するために社会価値を意識した事業活動が重要であると考え、2022年度よりこのウエイトを高めます。

なお、業務執行から独立した立場にある社外取締役および監査役には、業績連動報酬等の変動報酬は相応しくないため、基本報酬のみの支給としています。また、役員退職慰労金制度はありません。

支給対象の取締役のエグゼクティブオフィサーの役位ごとの種類別報酬割合（2021年12月31日現在）

エグゼクティブオフィサーとしての役位	役員報酬の構成比			合計
	基本報酬	業績連動報酬		
		年次賞与	長期インセンティブ型報酬	
社長 兼 CEO	33.3%	33.3%	33.3%	100%
副社長	54%～56%	22%～23%	22%～23%	
常務	54%～60%	20%～23%	20%～23%	
エグゼクティブオフィサー	56%～64%	18%～22%	18%～22%	

(注) 1. この表は、基本報酬額を該当の役割等級における中央値とし、かつ業績連動報酬の支給額について、当社が定める基準額100%分を支給した場合のモデルであり、当社の業績および株価の変動等に応じて上記割合も変動します。

2. 取締役の代表権の有無により種類別報酬割合に差異を設けていません。

3. 各役員の役割等級に応じて異なる報酬テーブルが適用されるため、同一役位内であっても、個人別に報酬の種類別の割合が異なります。

役員報酬制度の内容

役員報酬制度の詳細につきましては「株式会社資生堂 第122回定時株主総会招集ご通知」の82ページから88ページに記載しています。

「株式会社資生堂 第122回定時株主総会招集ご通知」は、当社企業情報サイトの「投資家情報/株主総会情報」(<https://corp.shiseido.com/jp/ir/shareholder/>)に掲載しています。

第122回定時株主総会後の役員体制

本総会終了後に開催された取締役会において、取締役魚谷雅彦氏および取締役鈴木ゆかり氏が代表取締役に選定され、それぞれ就任いたしました。

また、本総会終了後に開催された監査役会において、監査役吉田猛氏および監査役宇野晶子氏が常勤監査役に選定され、それぞれ就任いたしました。

この結果、現在の当社の役員体制は以下のとおりです。

1. 取締役

地位	氏名	当社における担当および重要な兼職の状況
代表取締役 エグゼクティブ オフィサー ^{*1} 社長 CEO	魚谷 雅彦	取締役会議長 指名・報酬諮問委員会委員 Global Risk Management & Compliance Committee ^{*2} 委員長
代表取締役 エグゼクティブ オフィサー ^{*1} 常務	鈴木 ゆかり	チーフマーケティングオフィサー チーフD&Iオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員 HQ・SJコンプライアンス委員会 ^{*3} 委員長
取締役 エグゼクティブ オフィサー ^{*1} 常務	直川 紀夫	日本地域CEO 資生堂ジャパン株式会社 代表取締役 社長 CEO Global Risk Management & Compliance Committee委員 HQ・SJコンプライアンス委員会委員
取締役 エグゼクティブ オフィサー ^{*1}	横田 貴之	チーフファイナンシャルオフィサー(最高財務責任者) Global Risk Management & Compliance Committee委員 HQ・SJコンプライアンス委員会委員
社外取締役 (独立)	岩原 紳作	指名・報酬諮問委員会委員長 早稲田大学法学学術院 教授
社外取締役 (独立)	チャールズ D. レイク II	指名・報酬諮問委員会委員 アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッド 取締役社長 東京エレクトロン株式会社 社外取締役 日本郵政株式会社 社外取締役 アフラック生命保険株式会社 代表取締役会長

地位	氏名	当社における担当および重要な兼職の状況
社外取締役 (独立)	大石 佳能子	指名・報酬諮問委員会委員 株式会社メディヴァ 代表取締役 株式会社シーズ・ワン 代表取締役 江崎グリコ株式会社 社外取締役 参天製薬株式会社 社外取締役
社外取締役 (独立)	得能 摩利子	指名・報酬諮問委員会委員 株式会社ハピネット 社外取締役 三菱マテリアル株式会社 社外取締役 ヤマトホールディングス株式会社 社外取締役

※1 2022年1月より、執行役員制度を廃止し、エグゼクティブオフィサー体制へ完全移行しました。

※2 Global Risk Management & Compliance Committee:グローバルおよびローカルの社会変化や資生堂グループの現状を的確に捉え、これに基づき経営リスク要因を特定し、重要リスクの優先順位付けとその対策、世界各地の倫理・コンプライアンスの現状と対策を検討しています。

※3 HQ・SJコンプライアンス委員会:当社(HQ)および資生堂ジャパン株式会社(SJ)を含む、日本国内に所在する資生堂グループ各社における倫理・コンプライアンス、インシデントの現状把握と対策を検討しています。

(注) 岩原紳作氏、チャールズ D. レイクⅡ氏、大石佳能子氏および得能摩利子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。また、当社は岩原紳作氏、チャールズ D. レイクⅡ氏、大石佳能子氏および得能摩利子氏を東京証券取引所の有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員に指定しています。

2. 監査役

地位	氏名	重要な兼職の状況等
常勤監査役	吉田 猛	Global Risk Management & Compliance Committeeオブザーバー HQ・SJコンプライアンス委員会オブザーバー
常勤監査役	宇野 晶子	Global Risk Management & Compliance Committeeオブザーバー HQ・SJコンプライアンス委員会オブザーバー
社外監査役 (独立)	後藤 靖子	株式会社デンソー 社外監査役
社外監査役 (独立)	野々宮 律子	フーリハン・ローキー株式会社 代表取締役 CEO 長瀬産業株式会社 社外取締役
社外監査役 (独立)	小津 博司	弁護士 三井物産株式会社 社外監査役 トヨタ自動車株式会社 社外監査役 一般財団法人清水育英会 代表理事 一般社団法人刑事司法福祉フォーラム・オアシス 代表理事 一般財団法人日本刑事政策研究会 代表理事

(注) 後藤靖子氏、野々宮律子氏および小津博司氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。また、当社は後藤靖子氏、野々宮律子氏および小津博司氏を東京証券取引所の有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員に指定しています。

3. 取締役を兼務しないエグゼクティブオフィサー

地 位	氏 名	担 当 等
エグゼクティブ オフィサー 常務	藤 原 憲太郎	中国地域CEO 資生堂(中国)投資有限公司 董事長兼総経理 Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー 常務	岡 部 義 昭	チーフブランドイノベーションオフィサー/チーフテクノロジーオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	安 野 裕 美	チーフパブリックリレーションズオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	マ リ ア チ ク ラ ナ	チーフリーガルオフィサー グローバルジェネラルカウンセル Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	橋 本 美 月	チーフブランドオフィサー クレ・ド・ポー ボーテ
エグゼクティブ オフィサー	ア ン ジ ェ リ カ マ ン ソ ン	チーフデジタルオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	野 田 公 一	チーフピープルオフィサー
エグゼクティブ オフィサー	斉 藤 賢 一	チーフクオリティオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	ア ン ト ニ オ スピリトポロス	チーフサプライネットワークオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	高 野 篤 典	チーフインフォメーションテクノロジーオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	梅 津 利 信	チーフストラテジーオフィサー Global Risk Management & Compliance Committee委員
エグゼクティブ オフィサー	山 本 尚 美	チーフクリエイティブオフィサー
エグゼクティブ オフィサー	行 定 良 太	チーフブランドオフィサー ブランドSHISEIDO

※2022年1月より、執行役員制度を廃止し、エグゼクティブオフィサー体制へ完全移行しました。

株式に関するお手続きについて

1. 第122期期末配当について

当期（第122期）の期末配当は、1株につき30円と決定いたしました。（年間では、すでにお支払済の中間配当金と合わせて1株につき50円となります。）

第122期期末配当のお支払いにつきましては、銀行預金口座等振込ご指定でない方は、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）にて、払渡しの期間内（2022年3月28日から2022年5月2日まで）にお受取り願います。銀行預金口座等振込ご指定の方は、ご指定口座への入金をご確認ください。

2. 会社法改正による株主総会資料（招集通知）の電子提供スタートについて

2023年3月以降の株主総会（当社では来年3月下旬の次回定時株主総会予定）より、これまで郵送していた株主総会資料が原則ウェブ化されます。株主のみなさまは、会社からご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料の全文を確認いただけます。

- 株主総会資料（招集通知）が、原則として「印刷物」から「ウェブ」でのご確認に変わります。
- 印刷した全文の招集通知は原則として発送なくなります。ただし、決算概要や議案内容を要約した印刷物を作成し、議決権行使書とともに発送する予定です。



- インターネットの利用が困難な方等で、全文の招集通知（インターネット開示事項を除く）の印刷物が必要な場合は、本年9月以降、お取引の証券会社または、以下の株主名簿管理人 三井住友信託銀行へ請求手続きをいただくことで書面交付請求が可能です。

スケジュール

2022年8月31日まで	制度周知期間
2022年9月1日	書面交付請求受付開始
2023年3月以降の株主総会	電子提供制度開始

株主総会資料の電子提供に関するお問合せ先

三井住友信託銀行 証券代行部

0120-533-600

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

ぜひQ&Aもご利用ください。

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>



当社株式に関する事項は以下のお問合せ先へご照会ください。

（証券会社口座でご所有の株式については、お取引の証券会社へお問合せください。）

〈お問合せ先(当社株主名簿管理人)〉

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

（受付時間：平日9:00～17:00）



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。